

# ハザードマップの見方

# 全体図

## 確認したいポイント

- 自宅等のある場所で指定されている洪水浸水想定区域・土砂災害警戒区域など
- 避難場所の位置
- 自宅から避難場所へ向かう経路

※災害時に危険と思われる箇所(河川より低い道路、防護柵のない水路など)を自分の目で見て確認しておくことも大事です。



## 洪水浸水想定区域：想定最大規模

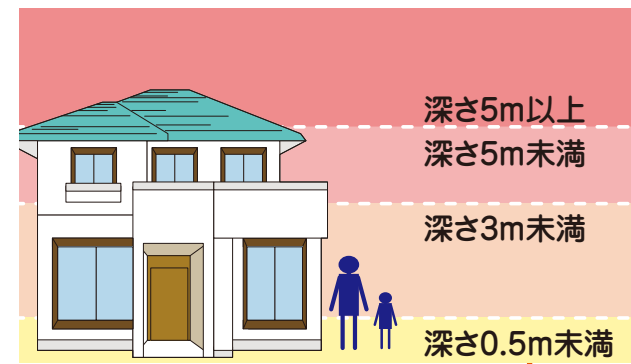
水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示したものです。

遠賀川：日の出橋上流域の12時間総雨量592mm

なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊によるはん濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨によるはん濫、高潮及び内水によるはん濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

### 洪水浸水想定区域

河川がはん濫した場合の「浸水する範囲(浸水域)」と「浸水の深さ(浸水深)」を示しています。

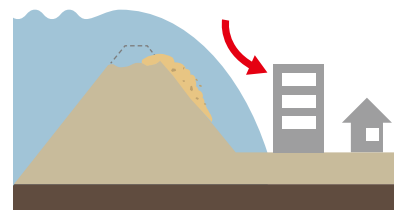


### 家屋倒壊等はん濫想定区域

想定最大規模のシミュレーションをもとに、「家屋倒壊等」をもたらすようなはん濫の発生が予想される区域を示したものです。この区域は、**早期の立退き避難が必要です!**

「はん濫流」による家屋倒壊等

はん濫した洪水の流速が速く、木造家屋が倒壊する恐れのある区域



## 土砂災害警戒区域・特別警戒区域

土石流とは、大雨などが原因で山や谷の土・石・砂などが崩れ、水とまじってどろどろになり、一気に流れ出てくる現象です。破壊力が大きく、速度も速いので、大きな被害をもたらします。急傾斜地の崩壊とは、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。雨水ががけにたくさんしみこんだことが原因で起きたり、地震のゆれによって起きたりします。一気に大量の土砂がくずれ落ちてくるため、がけの下にいる人は逃げ遅れることが多いです。



福岡県が指定した、「急傾斜地の崩壊」と「土石流」の土砂災害警戒区域・特別警戒区域を示しています。※土砂災害防止法による指定箇所は、令和3年2月現在の区域です。

## 内水はん濫

下水道や水路などの処理能力を超える大雨が降った時に、雨水を河川などに排水できなくなり起こる住宅や道路への浸水被害を表示したものです。

